



東小だより



2020year 20th Anniversary
HIGASHIYAMATA Elementary School

横浜市立東山田小学校 学校だより 11月号 令和2年10月30日発行

学校の新しい生活様式での取組

校長 宇都宮 桂

夜中までの雨でグランドコンディションが心配されましたが、大きな水たまりもなく、10月18日(日)、子ども達は、青・白・赤の福来くんマスクをつけ「東山田小20周年 Sports festival」が開催されました。

午前と午後、月曜日と火曜日等、学年ごとに分けて運動会を実施する学校もありますが、本校では、ソーシャルディスタンスを取りながら、1年生から6年生まで全員が集まって運動会をすることにしました。それは、1つ目に、今までの練習の成果を発揮する姿を一人でも多くの人に見てもらい、たくさんの賞賛をいただき「自信をつけてほしい」と考えたからです。2つ目に、他学年の人の演技や徒競走・リレーを見て、よい動き、すばやい走り、一生懸命に取り組む姿など「よいところを自分に取り入れてほしい」と考えたからです。



全児童が校庭に出るので、密を避けるために保護者一名、演技のみの参観となりましたが、運動会後の子ども達の振り返りや保護者アンケートの様子を見ると、子ども達が「自信を深めること」「友達のよさを自分に取り入れること」ができたと感じています。

また、その日の午後に行われた「Zoom でつながるオンライン体験」へのご参加もありがとうございました。313名の子ども達が参加しました。自宅等に居ながら教師や友達と顔を見ながら話をするのができ、最初は少し興奮している様子もありましたがすぐに落ち着き、発言のルール=ミュートのオン・オフを守りながら、Sports festivalの感想を話したり、クイズをしたり、画面や音声からオンライン体験を楽しんでいたようです。保護者の皆様のご協力にも感謝申し上げます。この経験を生かして4年生のクラスでは、総合的な学習の時間に、Zoomを活用して校歌の作曲者である大久保裕子先生にインタビューをしました。大型テレビにPCを繋ぎ、画面越しに敬語を使い丁寧に会話をしている子ども達の姿はとても素晴らしかったです。直接お会いできなくてもZoomを活用した人との繋がりは新しい学習のスタイルの1つだと感じました。



さて、11~12月にかけて、全学年が遠足・社会科見学に出かけます。豊かな自然や文化にふれる体験を通して学習活動を充実・発展させたり、集団活動を通して生活習慣や公衆道徳の体験を積んだり、ふれあいを深め、互いを思いやり、協力し合ったりする等、遠足・社会科見学はとても意義がある活動です。そこで感染予防対策をとって実施をします。「お知らせの配布」→「学校YouTubeチャンネルでの説明会の実施」(学年ごとにメール配信で説明会のURLをお知らせしますので、本校のYouTubeチャンネルで説明会の動画(5分程度)をご覧ください)→「参加承諾書の提出」→「遠足・社会科見学の実施」と、だれもが安心して参加できるようにしたいと考えています。また、動画をご覧いただいてもご不明な点は、メールにてご質問も受け付けます。「密を避ける」「ディスタンスをとる」等対策を取りながら進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、創立20周年記念の取り組みとして、10月21日(水)に航空写真の撮影を行いました。20周年記念のマスコット福来くんのデザインが大きく校庭に描かれ、子ども達はその上に立ち、色画用紙を持って撮影をしました。どのような写真ができ上がってくるのか楽しみにしていただければと思います。そして、お祝いの会を実施します。密を避けるために、全校児童が体育館に入ることができません。そこで、本校の隣にある「横浜国際プール」での開催をお願いしたところ、吉田館長様からご快諾をいただき、12月24日(木)10時30分~1時間ほどの開催予定です。4000人入れるということで、保護者の方の参観も考えています。後日、詳細のお知らせを配布します。

10月は、いろいろな取り組みがありました。そして、11~12月も行事があります。子ども達の健康を守りながら、学習や行事を進め、自己肯定感や自己有用感の育成を図っていきます。今後も保護者や地域の皆様のご理解・ご協力、そして、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

